奥美濃 石徹白 銚子ヶ峰（1810m）

2013年10月27日(日)
メンバー　L：磯部Ｓ（記）、磯部Ｎ、ふじ、小池Ｎ、市川、平川

　前夜出発し、道の駅白鳥で仮眠。残念ながら小雨が降り続いていた。
朝起きると、周囲の山々が見事に紅葉している。遠くまで来た甲斐があるというものだ。

石徹白の林道をつめ、立派な駐車場を持つ登山口に着き、いきなり４００段以上の石階段を登る。
そんな数あったかなあと階段を終えると、有名な石徹白大杉がでんと目の前に現れた。
太さは見応えはあるが、樹高は長い年月の間に幾多の自然災害でやられたのか、痛々しいものであった。

途中若干の急登はあるものの、概ねゆったりとした登山道のため、すばらしい紅葉を見ながらでも歩を進めることができる。
残念ながら青空との色の競演は望めないが、しっとりと濡れた紅葉もまたおつなものである。

紅葉に囲まれながら歩く

ナナカマドと雪、めずらしい景色

主稜線が見え始めてくると、なんと雪をかぶっているではないか！昨夜の雨は、上では雪に変わっていたのだ。
これまた紅葉とのコントラストがめずらしく、めったに見られない景色に感動する。事実、下るときにはもう消えかかっていた！

立派な避難小屋をすぎ、だんだんと樹林帯から抜けてなだらかな笹原の主稜線を登る。
遠望はきかないが、近くの山々の紅葉の波々は晩秋を感じさせて、味わい深い。雪は５cm程積もっていた。

みんな笑顔

笹と雪の主稜線をゆったりと進む

紅葉で有名な山だけあって、たくさんの登山者が訪れていた。広い頂上ではゆっくりと休憩していた方々が多かったが 天候の回復も見込めそうもなく、別山方面もガスの中だった。寒くなってきたため、すぐに下山。
途中、風よけとなる母御石という名の大岩の陰で大休止。僕の紅葉山行一大イベント、あつあつのコーヒーを飲みながら、ゆったりと山々の 景色を楽しんだ。

誰が作ったのか雪だるま。季節はずれの光景です。

下りの紅葉もまた美しい・・・。

６０人ほどの大団体と、すれ違うのに一苦労しながら下る。濡れた登山道の木の根に注意しないとすってんころりんしそうだ。
ピストンではあるが、見る角度が違うとまた紅葉も別の美しさを見せる。飽くこともなく登山口に着いた。

水滴とナナカマドの実

雪帽子をかぶったナナカマドの実

＜タイム＞　登山口駐車場(7:50)－銚子ヶ峰頂上(11:10)－登山口駐車場(14:10)

以上